

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 6 月 16 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	法学部法律学科
留学(渡航)した時の学年	3 年生
帰国年月日	2025 年 6 月 3 日
明治大学卒業予定年月	2027 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	インディアナ大学インディアナポリス校 (日本語名) Indiana University Indianapolis (現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ 英語
留学期間	2024 年 8 月～2025 年 6 月
留学先大学で在籍した学年	3 年生
留学先の所属学部等	☒ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: リベラルアーツ学部 現地言語での名称: Department of Liberal Arts ☐ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月下旬～12 月中旬 2 学期: 1 月中旬～5 月初旬 3 学期: 4 学期:
学生数	25000 人
創立年	1969 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ドル \$) (1 現地通貨 = 145 円)	B 日本円	備考
授業料	33,647	4,878,795 円	恐ろしい値段でした。
宿舍費	8,838	1,281,510 円	もう相場がわかりません。
食費	2,500	362,500 円	最初の方は自炊をしていましたが、大学内の食堂の回数券を持っていた友達の助けに徐々に依存するようになり、料理の腕は全く上がらず、未だに包丁を持つのが怖いです。
図書費	280	40,600 円	僕の受けた授業の多くは教科書を必要としないものだったので、一冊しか教科書は買っていないです。また、教科書が指定されていても実際には必要ないような場合もあるので、教授やクラスメートに相談するといいと思います。あと、大学内の購買で教科書を買うのは やめた方がいいです。高いので。
学用品費	150	21,750 円	僕はアートの授業を取っていたのですが、アート専攻の友達が様々なアート用品を恵んでくれたので、かなり出費を削ることができました。
携帯・インターネット費	0	0 円	携帯会社が softbank だったので、アメリカでも設定を変えるだけでそのまま使えました。
現地交通費	0	0 円	そもそも教室まで徒歩で行けるのですが、シャトルバスがキャンパス内を周回していて、さらに学生は無料で使えました。ただ僕は歩くのが好きなのでマイナス 20 度の冬でも歩いて教室へ向かっていました。(☑大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0	0 円	
旅費(留学中)	2500	362,500 円	シカゴとラスベガスとニューヨークに旅行に行きました。
被服費	0	0 円	冬はマイナス 20 度にもなるインディアナですが、僕は勇敢にも冬用の服を持っていくのを忘れました。しかし、周囲の人に恵まれ、ルームメイトや友達が服をくれたので何とか生き延びることができました。
医療費	0	0 円	病は気から
保険費	1,843	267,235 円	形態: 最終形態
渡航旅費	1,300	188,500 円	乗り継ぎのシアトルで 16 時間飛行機を待ちました。許しません。シアトル。
ビザ申請費	535	77,577 円	渡米の 1 週間前にビザ面接を受けました。
雑費	0	0 円	
その他	2,153	312,185 円	上記に該当しないすべての出費をまとめました。
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	53,746 (=7,793,152 円)	7,793,152 円	
総計(A+B) ※円		7,793,152 円	震えが止まりません。

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地：羽田空港 目的地：Indianapolis International Airport 経由地：Seattle Tacoma International Airport	
復路 出発地：John F. Kennedy International Airport 目的地：羽田空港 経由地：なし	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社： 料金：	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社：JAL, ALASKA AIRLINES 料金：304000 円 復路 航空会社：JAL 料金：146130 円 ∴合計：450130 円	
航空券購入方法	
☐ 旅行代理店(店名：) ☒ インターネット(サイト名： 航空会社公式 HP) ☐ その他()	
滞在形態関連	
1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)	
☒ 学生寮(寮の名前： Riverwalk Apartment International House) ☐ アパート ☐ ホームステイ	
2) 部屋の形態	
☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 3)	
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4) 住居を探した方法：	
大学側からの案内に従った	
5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
僕の場合はルームメイトは全員現地のアメリカ人の学生で、最高のルームメイトに恵まれたので、何一つ不自由なく生活できました。また、彼らと毎日一緒に過ごしたことで自分の英語力を向上させるきっかけにもなりました。僕はインディアナ大学内の寮に住むのであれば、Riverwalk Apartment を選ぶのがベストだと思います。現地の学生も Riverwalk Apartment が一番いいとみんな言っていました。また、自分の英語力を向上させたいのであれば、1 人部屋ではなく、ルームメイト、特に現地の学生のルームメイトと一緒に住めるような環境を選択するべきだと思います。	

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

僕が留学していたインディアナ大学インディアナポリス校は都市型キャンパスであり、歩けばすぐにダウンタウンに行けたのですが、インディアナポリスのダウンタウンは夜は治安が良くないので、夜中には絶対にダウンタウンに 1 人で行かないように気を付けました。こういった情報は最初の新入生オリエンテーションで話がありました。また、現地の友達が危険な場所や通りを教えてくれました。僕自身が犯罪に巻き込まれたことはありませんが、夜間は本当に注意が必要でした。ダウンタウンに近いとはいえ、キャンパス内は安全なので安心してください。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地で利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

僕は携帯会社が SoftBank だったので、アメリカでも設定を変えることでそのまま携帯を使用することができました。しかし、アメリカの phone number は持たなかったため、多少の不便はありました。Wifi についてですが、この 2025 年において Wifi 接続ができない場所の方が珍しいと思います。キャンパス内の Wifi も寮の Wifi も特に問題はありませんでした。

5) 現地で資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

渡米前に SONY 銀行で口座を開きました。SONY 銀行は海外でも使えるオンライン銀行なので、Sony Bank WALLLET でいつでもどこでも買い物や飲食ができました。また、現地の ATM から現地通貨も引き出せました。すごい宣伝みたいな文章になっていますが、便利なので必ずしも現地で口座開設する必要はないと思います。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

アメリカには国際的な食料品店もスーパーもあるので最悪すべての荷物を無くしても生きてはいけます。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学期の初めごとに大学から授業料等の請求書が来ました。支払い方法もその手続きも最初の新入生オリエンテーションで全て説明があるので心配する必要はありません。僕の場合は、大学が指定したアプリケーションを通じて支払いをしました。この言い方だとあたかも自分が支払ったかのように聞こえますが、お金はすべて両親が支払いました。本当にありがとうございます。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位	☐ 単位 ☒ 単位認定の申請はしません(理由: 明治大学で 4 年間のカリキュラムを修了したため。)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☐ 出発前 ☒ 出発後 ☒ 派遣先大学の事務室 ☐ オンライン ☐ メール ☒ その他(学習アドバイザーと対面で相談して決定) ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
BEGINNING DRAWING I	デッサン入門講座
科目設置学部・研究科	Herron School of Art+Design
履修期間	4 か月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回
担当教授	Julie Xiao
授業内容	この授業はデジタル機器を用いたデジタルアートの入門講座です。Adobe Photo Shop を使って、デジタルアートの基礎を学びました。
試験・課題等	アート系の授業は基本的にペーパー試験はありません。課題は授業内課題がほとんどでした。大きな 5 つの課題が設定されており、課題ごとにファイナルプレゼンテーション、クリティークが最後に設けられていました。
感想を自由記入	単位認定をしない選択肢を選んだからこそ、本当に自分が好きなことを制約なしに学べました。この授業は本当に楽しく、夢中になって、教授にお願いして授業後も残って課題の制作に没頭していました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
BEGINNING PAINTING I	絵画入門講座
科目設置学部・研究科	Herron School of Art+Design
履修期間	4 か月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回
担当教授	Matthew Eickoff
授業内容	この授業は油絵の基礎を学ぶ授業でした。授業時間は 120 分ですが、早く来て遅くまで残るクラスメートも多く、フレキシブルで自由な授業スタイルでした。
試験・課題等	前述したようにアート系の授業は試験のようなものではなく、基本的にプレゼンテーションとクリティークが課題ごとに設けられていました。授業外の課題としては自分のアイデアをスケッチブックに描いて教授のフィードバックをもらうものがあり、これはかなりの量のアイデアスケッチが要求されたので大変でした。
感想を自由記入	自分が好きだから履修した授業だったので、課題も全く苦ではなく、楽しく学ぶことができました。日本では美術大学に行かないとこういった授業を履修することはできないので、学べる学問の幅が広いというのがアメリカの大学の良いところだと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
MODERN & CONTEMPORARY JAPANESE CULTURE	近現代日本文化論
科目設置学部・研究科	School of Liberal Arts
履修期間	4 か月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 160 分が 1 回
担当教授	Izumi Tagawa Harris
授業内容	この授業はフィールドワークが多く、座学中心の日本の大学の授業とは全く違ったスタイルで日本の近現代の文化について身体的な体験を通じて深く学ぶことができました。
試験・課題等	中間試験と期末試験があり、すべて論述でした。日本人として日本文化を知っていても答えるのが難しいような設問が多く、日本文化についての深い理解と広い視野が必要でした。
感想を自由記入	日本の文化について英語で学ぶのは非常に面白い経験でした。この授業を履修してアメリカ人の視点から日本文化を視るということができたので貴重な学びができたと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
READING & WRITING & INQUIRY I	読解・作文・探求
科目設置学部・研究科	School of Liberal Arts
履修期間	4 か月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Mimoza Rista-Dema
授業内容	この授業はインターナショナルな学生たちを対象とした、留学生にとっては必修の英語クラスでした。APA スタイルを基にしたアカデミックな文章の書き方を学びました。
試験・課題等	この授業は課題の量が多く、さらに成績に占める課題の割合が大きかったので課題をこなすことが少し大変でした。最終試験は今までの課題を基に設定されたトピックでアカデミックな文章を書くものでした。
感想を自由記入	この授業の最大の特徴は生徒の多様性です。この授業を通じて、様々な国のバックグラウンドを持つ人たちと交流を深めることができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
JAPAN: THE LIVING TRADITION	日本：生ける伝統
科目設置学部・研究科	School of Liberal Arts
履修期間	4 か月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 160 分が 1 回
担当教授	Izumi Tagawa Harris
授業内容	この授業はフィールドワーク中心で多くの課外活動を通じて日本の伝統や文化について学びました。
試験・課題等	課題はフィールドワークごとのリフレクションが中心で、たまにリーディングアサインメントがありました。中間試験と最終試験があり、論述でした。深い知識と理解が求められるものだったので、日本人の自分でもすごく難しかったです。
感想を自由記入	日本の文化や歴史に興味を持っている人だけがこの授業を履修するので、クラスメートはみんな日本に興味や関心がある人たちです。日本好きなアメリカ人と友達になりたいければ、現地で日本に関する授業を取るとその機会が増えると思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
PRINCIPLES OF COMPOSITION EAP	EAP における文章構成の原則
科目設置学部・研究科	School of Liberal Arts
履修期間	4 か月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Maria Thereza X. Bastos
授業内容	この授業は留学生にとっては必修のクラスであり、APA スタイルに則ったアカデミックな文章の基礎や基本について学びました。
試験・課題等	毎授業ごとに課題が設定されていたため、課題の量は比較的多かったです。最終試験は今までの課題や授業内容に基づいて設定されたトピックについて自分の考え意見を論述するものでした。
感想を自由記入	この授業は英語を第一言語としない学生用の授業だったので、様々な国をバックグラウンドに持つ学生たちと交流できました。彼らとの交流は自分の英語学習のモチベーションにもなりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
INTRODUCTION TO TOURISM INDUSTRY	観光産業入門
科目設置学部・研究科	School of Health & Human Sciences
履修期間	4 か月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Michael Sprinkle
授業内容	この授業は観光産業の基礎を学ぶ授業で、なぜか課題活動で結婚式場に行きました。
試験・課題等	課題の量もそこまで多くないし、テストもそこまで難しくないので、おすすめです。
感想を自由記入	クラスメートは僕以外全員白人の女の子で、初回の授業の時に本当にクラスルームがここで合っているのか 7 回くらい確認しました。でもみんな本当に優しく素敵な人たちで、楽しかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
PRINCIPLES OF LIFESTYLE WELLNESS	ライフスタイル・ウェルネス論
科目設置学部・研究科	School of Health & Human Sciences
履修期間	4 か月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Brian Reagan Patrick
授業内容	この授業は wellness とは何かについて学ぶ授業で、教授が毎授業ごとに面白いアクティビティを用意してくれたので、楽しく学ぶことができる授業でした。
試験・課題等	定期的に小テスト、ミニプレゼンテーションがあり、さらに、中間試験、中間プレゼンテーション、最終試験、最終プレゼンテーションがありました。その準備は少し大変でした。
感想を自由記入	レゴが大好きな教授で、毎授業の初めや終わりに誰も求めているのに自分の作品を持ってきてその解説をしていました。そして、誰も求めているのに教授のレゴ作品から読み取れるメッセージについてのディスカッションもありました。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

☐就職 ☒進学 ☐未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

インディアナ大学で多くの大学院生と出会い、彼らの多くはアメリカではない国から学びに来ている場合がほとんどで、彼らの話を聞いたり、アドバイスを受け、自分ももう一度アメリカの大学院で新たなことを学びたいと強く決意しました。

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

僕が逆にアドバイスをいただきたいです。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

アメリカの大学院に進学しようと考えています。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

がんばれ!!

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	家族でサンディエゴ旅行
	4 月 ～ 7 月	サウナにはまりだすと同時に渡米の意思を固める
	8 月 ～ 9 月	カナダから帰国したいとこが激太りする
	10 月 ～ 12 月	ぶっつけ本番で TOEFL を受ける
留学開始年	1 月 ～ 3 月	成人式、バイト先の塾がつぶれる
	4 月 ～ 7 月	渡米のために 5 本の予防接種を 1 日で受ける
	8 月 ～ 9 月	渡米当日に大使館からビザ付きのパスポートが返却され、何が何だかわからないまま渡米
	10 月 ～ 12 月	最高の日々
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	ラスベガス旅行の帰りの空港で友達と大喧嘩
	4 月 ～ 7 月	日本に帰ってこないことを危惧した母がアメリカまで捕まえにくる
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

留学生生活を振り返ってみると本当に毎日が最高の日々で、写真やビデオを見返す度にあの頃にまた戻りたい、みんなに早く会いたい、インディアナにいますぐ帰りたいと思ってしまいます。こう書くとあたかも何一つ苦労や困難のない留学生活だったように聞こえてしまいますが、そんなことは絶対にあり得ません。何度も何度も僕は言語の壁にぶつかりました。でも、壁があったからこそ、その壁を乗り越えようとする努力もモチベーションも生まれたのです。逆境があったからこそ僕の留学生活はこんなにも楽しいものになったのだと思います。だからもし留学中に壁にぶつかってもそこで違う道に逃げないで下さい。それを乗り越えた先に待っている世界は特別なものです。そして、僕が留学中に大切にしていたことは、何事にもチャレンジしてみるという精神です。留学において、自分から動かなければ何も始まりません。ただ座っているだけでは誰も話しかけてこないし、友達もできません。最初は勇気があるかもしれませんが、留学しようと決意した皆さんにはもうその勇気は備わっていると思います。なので、自分がやりたいと思ったこと、興味があることがあれば、迷わず突き進んでください。絶対にいい結果が待っています。そしてもし、これを読んでいる人で、留学に行くか行かないか迷っている人がいたら、絶対に行って下さい。自分がやりたいことなのに、やらないで後悔するなんて最悪です。人生は一回きりです。好きなことややりたいことを断念する理由なんてありません。周りが何と言おうと、世間が何であろうと、あなたの人生はあなたのものです。自分の心の中の声にしたがってください。